

田井小学校の子どもに全国最先端の教育を ～学び続ける田井小学校の教職員～

「『なぜ学ぶか』を考え、自分で学習のゴールを定め、そこに至るまでの学習計画に基づいた授業が展開されていた。」
「45分間、全員が自分で取り組みたい課題に集中して取り組んでいた。」
「田井小の研究を全国指導主事研究会で島根県の好事例として紹介したい。」

これらは田井小の研究授業をご覧になった県や市の指導主事の先生からかけていただいた言葉です。ハイレベルな授業づくりに取り組んでいることについて、大変褒めていただきました。

今回は本校でどのように授業改善に挑戦しているかの一端をできるだけわかりやすく紹介したいと思います。



(1) 全国最先端の授業づくりを学びに行く

そもそも教員は「研究と修養に努めること」、つまり学び続けることが法律で規定されています。

しかし、今の時代、全国的に報道されるように、多様な子どもや保護者への対応、膨大な業務による教職員の多忙化や疲弊等で、教員が学校を離れて研修に出かけるハードルはますます高くなっています。

そんな中、田井小では「全教員が自分が学びたい全国の研修会に参加する。」ことを続けています。なぜか？



- ①教員が優れた授業を実際に見て学び、自身の授業力を向上させることができるため
- ②全国最先端の授業づくりの考え方や工夫を田井小学校の授業づくりに取り入れるため

そのため、県教育センターから田井小の研究に合った全国的な研修会を紹介してもらったり、県教育委員会に研修参加のための旅費を確保していただいたりしています。

研修に出かけた教員は校内で報告会を行い、全国最先端の授業づくりについて全教員で学ぶ機会を設けています。

(2) 1人1授業により研究を深める実践的な場を設けている

学んだことを田井小での日々の授業に生かすため、全担任が毎年、1人1回研究授業を行い、全教員が授業を見て共に学んでいます。

1つの授業を作るためには、おそらく保護者や地域の方が思っておられる以上に綿密な構想や計画※を立てます。

※全国的な研修会の成果や授業の狙い、担任の想いや願い等を込めたもの（指導案と言います）



指導案に基づいて研究授業を行い、授業で見られた子どもの姿や教員の指導の仕方について、研究協議を行い、さらなる授業改善にも努めています。

今回紹介したのは、授業改善のほんの一端に過ぎませんが、それでも私たち教職員は大きな手ごたえを感じています。児童数15名の小さな学校ですが、そこには自ら意欲的に学び続けるチームワークのよい教職員がおり、子どもたちの成長を日々支えています。

今年度も保護者の皆様にご協力いただき、学校評価を行いました。自己評価（保護者・児童・教職員のアンケート結果をまとめたもの）の結果は以下の通りです。成果と課題を考察し、出てきた改善策（案）を第2回吉田CS学校運営協議会にて報告いたします。この会でいただいた意見も併せ、次年度の教育活動改善に活かし、より良い学校経営につなげていきたいと考えています。

【Ⅰ】「田井っ子づくり」

全体的に良い評価となっています。

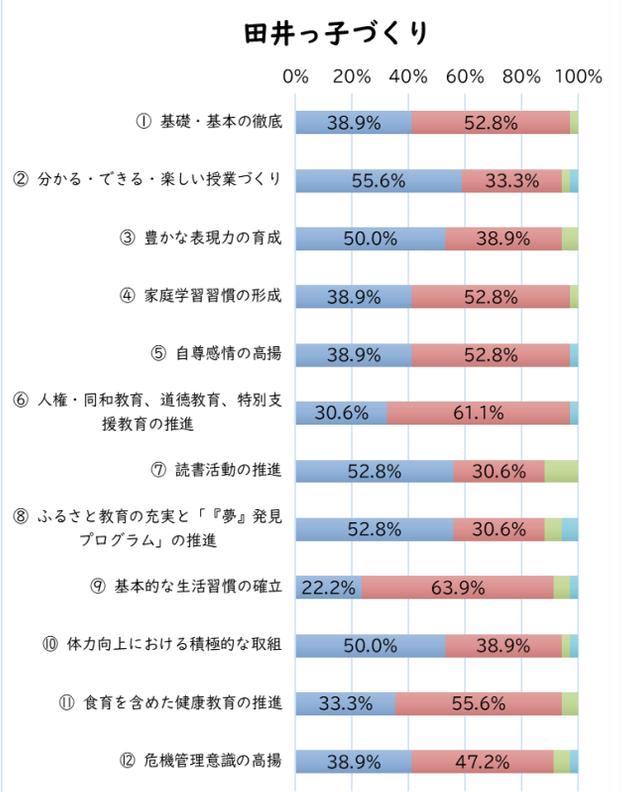
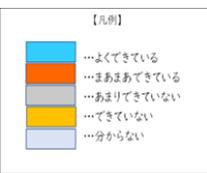
項目②の分かる授業づくりは、継続的に取組を進めている「個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指す授業改善」が一定の成果を見せていることがうかがえます。

また、⑦の「読書活動の推進」については、本と出会える環境を整えたり、児童会活動でも取り組んだことが成果の要因として考えられます。

⑧の「ふるさと教育の推進」については、今年度も地域や保護者の皆様に支えられながら年間を通じて取り組んだ成果が高く評価されています。

そして、⑩の「体力向上における積極的な取組」については、のびのびタイムやロードレース、体育の授業改善などで、児童が達成感を感じられる工夫をしながら年間通して取り組んできた成果であると考えます。

(%表示が肯定的評価の部分です。)

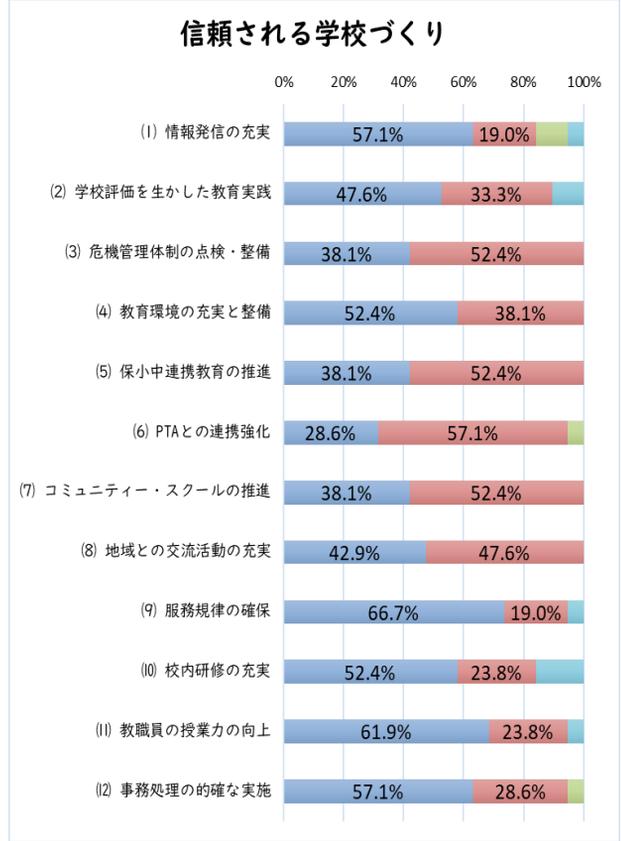


【Ⅱ】「信頼される学校づくり」

全体的に良い評価となっています。その中でも、(1)の「情報発信の充実」については、各種便りやホームページ等を通じた発信を多くの皆様にご覧いただいたことが評価に表れたものと考えます。

また、(4)の「教育環境の充実と整備」については、学校の環境整備や日々の教育活動において多数の地域の方々にご協力いただいたことが高い評価につながったものと考えています。

今年度も田井地区の皆さんからいただいた多大なご支援に感謝し、その良さを子供たちのために生かすことができるよう、今後も教育実践の工夫・改善に取り組んでいきたいと思ひます。



令和8年度 改善策(案)のポイント

(1) 授業改善

チャレンジタイムと朝活動を連動させた集中期間を設け、基礎学力の向上を図る。自由進度学習等、児童一人一人に合った学習の場を提供することで主体的に学ぶ子どもを育成するための授業改善を図る。

(2) 基本的な生活習慣づくり

メディアとの付き合い方を見直すため、生活習慣づくりチャレンジウィークにあわせて家庭学習パワーアップ週間を設定し、メディアに触れる時間を学習に向かう場に変えていく取組を進める。

対象の魅力的な活動

飾り炭・焼きいもづくり体験

1月20日に3・4年生が「みーもスクール」（県の森林学習）で飾り炭づくりと焼きいもづくりにチャレンジしました。

まず、木の実や木材で炭を作り、その炭をおこして「おき」を作り焼きいもを作りました。

火力が高く、本当にとろけるような甘いやきいもができ、喜びと達成感でいっぱいの子どもたちでした！



小小交流：スキー教室



1月23日に田井小学校と吉田小学校とで「交流スキー教室」を行いました。

両校の全校児童を6班に分け、6名の外部講師の方々にそれぞれのレベルに合った指導をしていただきました。

また、両校の教職員も6班に分かれ、子どもたちをサポートしました。

おかげで子どもたちは、楽しく交流しながらみるみる上達し、うれしそうな様子でした。

ストーリーテリングの世界

1月27日にストーリーテリングで全国的に有名な宇田祥子先生を招き、今年もお話を楽しむ会を開催しました。ストーリーテリングとは、絵本の読み語りとは異なり、本は用いません。

宇田先生が語られるお話（ストーリー）を聞いていると、頭の中に物語の映像が浮かんでくるから不思議です。子どもたちも教職員も想像力を働かせながら、お話に聞き入っていました。



曾木地区でのいろいろ体験



2月3日に1・2年生が曾木地区にでかけ、いろいろ体験の学習をしました。

昔の田井のお話や豆炒り歌を聞かせてもらい、自分たちの祖父母がまだ小さかった頃の生活を想像することができました。

その後は、近くの神社に移動。

鬼・福の神・奏楽の方々が登場していただけるという、本格的な豆まきです。鬼の怖さを感じつつも、全員が元気に鬼に向かって豆まき！

これで今年も元気いっばいに過ごせそうですね！

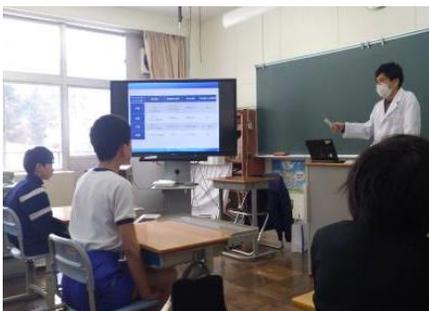
薬物乱用防止教室

2月3日に5・6年生が「薬物乱用防止教室」を行いました。

特別に、薬剤師の先生にお越しいただき、薬物乱用の危険性や中毒性、対処の仕方等について、専門的かつ具体的に教えてもらいました。

以前とは比べ物にならないくらい、危険な薬物との距離が縮まっている時代です。

正しい知識と断る（場を立ち去る）勇気を持つことの大切さを学びました。



おばけやしきの活動準備



ひまわり・たんぽぽ学級の子どもたちが自分たちで計画したおばけやしきの準備を進めました。

どんなコースにするか、どんなお化けを登場させるか、どんな飾りをつけるか等、みんなで楽しみながら、一生懸命考え、準備しました。

本格的なチケットもすべて手作り。

この活動には国語や算数、図工や生活科等さまざまな教科の学習やコミュニケーションの学習が組み込まれています。

6年生を送る会準備

3～5年生による「6年生を送る会実行委員会」が計画や準備を進めています。これまでお世話になった6年生にどうやったら喜んでもらえたり、感謝の気持ちを伝えられたりするかをしっかり考えています。

新リーダーの5年生を中心に、全校にも協力を求め、準備は最終段階を迎えています。



入賞おめでとう

○島根県版画展

優秀賞	4年	さん
優良賞	1年	さん
	1年	さん
	2年	さん
	2年	さん
	2年	さん
	3年	さん
	3年	さん
	4年	さん
佳作	1年	さん
	4年	さん
	4年	さん

○雲南市小学生書き初め展

金賞	3年	さん
銀賞	4年	さん
	5年	さん
銅賞	6年	さん

今後の主な行事予定

《2月》

27日 6年生を送る会

《3月》

- 3日 児童会リレー集会
家庭学習パワーアップ週間（～3/9）
- 4日 PTA全体会
- 10日 バースデー集会
- 17日 卒業式リハーサル
- 18日 学校支援（卒業式準備）
- 19日 卒業式
- 24日 修了式、離任式

田井小学校ホームページ



田井小学校